



その「わくわく」が、ありがたい未来をソウゾウする。

京都市立銅駝美術工芸高等学校

【教育理念】

自由快活な校風のもとで 多様性を尊重しともに高め合い、美の精神をもって広く社会に貢献できる高い理想をもった創造性豊かな自立した青年を育成する

【教育目標】

- ◆多様なものごとに触れ 美しさや本質を見出す
「感じる心」を豊かにする
- ◆主体的に取り組み 広い視野で柔軟に深く思考できる
「考える力」を伸ばす
- ◆幅広い美術の知識や技能を学び自分の思いや考えを形にする「表現する力」を高める

【目指す学校像】

「美」で未来への希望を創る学校

【育てる生徒像】

しなやかに、新たな自分を描く人へ

【育成する資質・能力】

- 「感じる心」…観察眼・発見力・感性
- 「考える力」…論理的思考力・判断力・発想力
- 「表現する力」…ものかたじけななもののづくり力・行動力

【目指す教師像】

- ・生徒に共感し、創造性を引き出す教師
- ・「今」を学び、成長し続ける教師

スクールポリシー

アドミッション・ポリシー

- ・美術工芸に対する興味・関心と基礎的な資質・能力を有し、その資質・能力を伸ばそうとする生徒
- ・自ら課題を見出し、他者と協働しながら粘り強く解決しようとする生徒
- ・将来、本校での学習を通して培った力を発揮し、様々な分野で社会に関わろうとする生徒

カリキュラム・ポリシー

- ・将来の予測困難な社会において、「美」のもつ力、役割、可能性を深く幅広く学び、生徒の持つ創造への意欲の高揚につながる取組を実践する。
- ・京都の強みを活かした学校内外の様々なつながりの中での協働的な学びを実践する。
- ・表現活動の基盤となる幅広い教養や他者に伝える力を培い、創造的な発想力や思考力、判断力を養うため、教科・科目や専攻の境界を越えた横断的な学びを実践する。
- ・個人の個性と可能性に丁寧に寄り添い、自己目標の実現に向けた生徒の主体的な学びを支援する。

グラデュエーション・ポリシー

- ・柔軟に粘り強く挑戦し続けられる心を育み、作品制作や言語表現を中心とした多様な表現活動や他者との関わりの中で、新たな自分や価値を創造していく意欲と能力を有する。
- ・美術分野の専門性や汎用的な力を活用し、将来、文化芸術の創造・発展に寄与し、世界と対話的に関わっていく態度と能力を有する。

美工の中核となる教育活動

BIKOsteAm

BIKOの学びをARTでつなぐ

美術工芸高校の特性を生かし「美」を通して様々な学びに横断的に取り組みます。京都の強みを生かし 学校内外とのつながりを通して創造に向かう力 **Creatorship** を育成します。

ひろげる つなげる ふかめる

美術 × 英語 × 情報

ユニバーサルデザインをテーマに英語科とデザイン専攻が協働で授業を行いビクトグラムを制作。

たとえば

美術 × 探究

美術館と連携し、生徒のオリジナルな展覧会を企画。

普通教科

美術教科

8 専攻実習
日本画 洋画 彫刻
漆芸 陶芸 染織 デザイン
ファッションアート

特別活動

美術研修旅行
美工作品展
生徒会活動
文化祭

探究

課題解決型学習

課外活動

部活動
海外研修
留学生交流

CAREER PRODUCE

柔軟な思考で 生涯にわたり 自ら探究し 学び続ける基盤をつくる

